

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業効果検証結果

1 環境SDGs おおがき推進事業（令和4年度から令和6年度）

(1) 基本事項

担当所属	環境衛政策課		
総合戦略	基本目標	3	安全で安心できるまちづくり
施策体系	基本施策	(4)	持続可能な「水の都おおがき」の創生
(該当箇所)	具体的方策	④	地球環境保全の推進

(2) 事業内容

事業内容	環境SDGsの単なる周知・啓発に留まらず、全世代へ環境SDGsの輪を広めるとともに、市民等の自発的な取り組みを促すため、SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施した。
事業主体	大垣市、大垣市環境市民フェスティバル実行委員会
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）
予算額	14,000,000円
決算額	14,267,426円
交付金額	6,999,795円（交付対象経費の1/2）

※ 予算額・決算額・交付金額は、令和6年度の金額を記載。（決算額は見込額）

(3) 事業の成果等

重要業績評価指標 (KPI)	No.	指標名	基準値	目標値 (R6)	実績値 (R6)
重要業績評価指標 (KPI)	1	事業を通じたSDGsの取り組みの提案件数	—	3件	5件
	2	事業への参加人数	—	3,000人	5,965人
	3	事業を通じた環境SDGs推進人材の養成人数	—	10人	15人
事業効果	地方創生に非常に効果があった（全ての指標で目標以上を達成）				
事業の評価	SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施することができており、事業を通じたSDGsの取組みの目標値すべてで目標以上を達成することが出来た。令和7年度以降も、市民・市内事業者が、市のことを自分ごととして捉え、自ら考え・行動するためのきっかけとなるよう、本事業を継続して実施し、地方創生に向けた持続可能なまちづくりの基盤となる「人材の確保・育成」を図っていく。				